

注 意 報

農技セ第5516号
令和元年9月13日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

令和年度農作物病虫害発生予察情報について

令和元年度農作物病虫害発生予察注意報第4号を公表したので送付します。

令和元年度病虫害発生予察注意報第4号

令和元年9月13日
徳 島 県

9月第3半旬の巡回調査において、トビイロウンカの生息密度が平年に比べて高かったことから、9月中旬以降に収穫する圃場では坪枯れの発生が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：普通期水稻
病虫害名：トビイロウンカ

1. 発生地域 県内全域（9月中旬以降に収穫する圃場）
2. 発生時期 9月～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

- (1) 9月第3半旬の県西部9圃場の巡回調査では、発生圃場率が66.7%と、平年(31.2%)に比べて高いが(10年間で4番目に高い)、株当たり寄生虫数は0.26頭と、平年(0.15頭)並の発生である(10年間で3番目に多い、表1)。なお、増殖率の高い短翅型雌成虫が調査9圃場中4圃場で確認され、株当たり寄生虫数は0.04～0.24頭であった。
- (2) これらのことから、巡回調査圃場付近において追加調査(東みよし町13圃場、三好市7圃場)を実施した結果、発生圃場率が95.0%、株当たり寄生虫数が0.47頭であった。調査20圃場のうち、3圃場で要防除密度(株当たり1頭)を超えた。
- (3) また、当該調査圃場以外において、“坪枯れ”(図1, 2)の発生圃場(美馬市、那賀町)が確認されている。
- (4) 高松地方气象台が9月12日に発表した1ヶ月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より多いと予想されており、トビイロウンカの増殖に好適な気象条件が続くと考えられる。

5. 防除法等

- (1) 圃場における発生状況を早期に確認し、1株当たりの成幼虫数が1頭以上の場合は薬剤防除を行う(表2)。
- (2) 本虫は株元に生息しているので、薬剤が株元に十分到達するように丁寧に散布する。
- (3) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



図1 トビイロウンカによる被害(坪枯れ)



図2 株元に生息するトビイロウンカ

表1 9月3半旬の県西部におけるトビイロウンカ 株当たり虫数の年推移

	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	平均
調査圃場数	9	9	10	10	10	11	10	5	5	4	4	7.8
確認圃場数	6	0	1	0	1	3	9	5	0	3	0	2
未確認圃場数	3	9	9	10	9	8	1	0	5	1	4	6
圃場率	66.7	0.0	10.0	0.0	10.0	27.3	90.0	100.0	0.0	75.0	0.0	31.2
虫数/株	0.26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.4	0.1	0.0	0.6	0.0	0.23

表2 トビイロウンカに効果のある農薬(農薬登録内容：2019年9月13日現在)

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統	IRACコード
キラップフロアブル	1000~2000倍	収穫14日前まで	2回以内	フェニルピラゾール	2(B)
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	ピレスロイド	3(A)
MR.ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	ピレスロイド	3(A)
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	3000倍	収穫7日前まで	3回以内	ネオニコチノイド	4A
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキシミン	4C